

神奈川の風



平成28年12月14日号

校長 吉江 明洋

< インフルエンザの対応について >

12月も半ばとなり、横浜市内の小中学校や近隣の中学校でも、インフルエンザが流行しています。

本校も例外ではなく、2年生を中心に欠席者が急増しており、昨日プリントや、まちkomiメールでもお知らせした通り、朝や放課後の部活動を休止し13日(火)は2年生は午後下校。14日(水)は全学年午前中授業の措置をとらせていただきました。今後の感染拡大がないよう祈るばかりです。



また、体調不良や発熱した場合は、無理をさせずに欠席させ、学校に体温・症状等をお知らせいただくと共に、早急に医療機関に受診するようお願いいたします。

インフルエンザと診断された場合は、医師の登校許可が出るまでか、発症の次の日から5



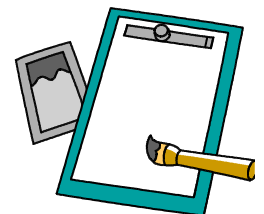
日間かつ解熱後2日は出席停止となります。回復して登校する日には、生徒手帳に必要事項を記入・押印して担任に提出していただくことになっておりますので再度ご確認ください。

また、現在発熱が見られない生徒も感染拡大の防止と予防の観点から、うがい手洗いの励行やマスクの着用。できるだけ不要な外出を控えて自宅で十分な健康観察を行うとともに、睡眠・栄養を十分にとり感染予防や健康回復に努めるよう心がけましょう。

今後、発症数や欠席者数の増加により、再度授業終了時間を繰り上げての総下校や、学級・学年閉鎖等が必要となった場合は、状況に合わせてプリントやメール配信でその内容を該当学年にお知らせしますので、各ご家庭でのご理解ご協力をよろしくお願いします。

< 今年の漢字は「金」 >

1995年(平成7年)に始まり、年末恒例となっている日本漢字能力検定協会が公募する「今年の漢字」は、応募総数15万3,562票の中から「金」が最多の6,655票で選ばれ、12日(月)に、世界文化遺産の京都清水寺の舞



台で森清範貫主の揮毫で発表されました。応募者があげている理由は、「リオ五輪での金メダルに沸き2020年の東京五輪に希望を託したこと」「政治と金の問題に揺れた年」「イチローのメジャー通算3,000本安打の金字塔」「米大統領選を制したトランプ氏のトレードマークである金髪」「マイナス金利の初導入」などがあったようですが、00年のシドニー、12年のロンドン、そして今年のリオデジャネイロと、五輪があった年はこれで3回目の「金」が選ばれています。ちなみに22回の歴史の中で複数回選ばれている漢字は「金」だけだそうです。